

犬山城 地下一、二階（穴蔵）

犬山城は、その建設に機械や鉄が使用されていないにもかかわらず、何世紀にもわたって建っています。

地下の入り口からは、城の建設に使用された近世の技術の一部を垣間見ることができます。

労働者は、隙間をふさぐためにしっくいを使用せずに、自然な野原の石をランダムに積み上げました（野面積）。この技法は、石垣の建設方法の1つであり、神社や寺院にも使用されていました。

天井に沿って水平に走る太い木製の梁は、19メートル上に上がる天守の支えです。

大工が手で梁を彫り、彼の斧で手打ちされたスケールを見ることができます。

階段の急な角度は、鎧を着て武器を運ぶ侵入者が上昇するのを困難にするように設計されました。